

2025 October
238号

議会だより

特集

『皆さまの声、活かします』
伝わる・届く議会だよりへ！P.2
～
P.3

コンテンツ

気になる数字を比べてみました … 5	傍聴者(視聴者)の声 …… 16
令和6年度事業の成果・効果 …… 6	夏休み議場開放 …… 20
一般質問4名の議員が登壇 … 12	おじゃましま～す！ …… 22

表紙シリーズ 未来を担う子どもたち「ソーラン、ソーラン♪」

令和7年10月31日発行

おじゃましま～す！
第10回 もり牧場ふるさと納税の返礼品を
手掛けてくださっている
町内の事業所を取材しま
した。住所：須恵町植木2003-24
TEL：935-1625

第10回は、ふるさと納税返礼品で、濃いミルク味が魅力の『もり牧場ジェラート』が人気のもり牧場様におじゃましま～す！

迎えてくださいましたのは、須恵町で最後の一軒となった酪農業を営まれている、もり牧場の森裕二さんです。

会社の来歴から未来構想まで色々とお聞きました。

昭和35年創業で、現在の社長になられてからは7年程になります。高速道路沿いから少し入った場所で酪農業を営んでいます。

主な事業内容は、乳牛の繁殖・搾乳と和牛仔牛の繁殖や牧草作りです。

もり牧場で生産される牛乳は100%ふくおか県酪農業協同組合へ集荷されており、町民の皆さま

に安心安全で美味しい牛乳が届くようになっています。そのために、牛の管理はスマートフォンに専用アプリを導入し、24時間365日管理できるようにしています。

最大の課題は堆肥処理が安定しないことです。その結果、牛の頭数を増やすことができない、牧草地を潰さないといけないなど、問題も沢山ありますが、森さん曰く、「毎日大変な仕事だと考えるよりも、真逆の考え方で、牛と共に喜びや楽しみ、そして悲しみを共有し、牛の気持ちに立った酪農を目指していると毎日がそこまで大変だとは思わない」とのことです。その言葉がとても印象的でした。光熱費、飼料代が高騰する中、しっかりとした信念を持って、日々牛たちと真剣に向き合っています。



森 裕二 氏

自社ブランドとしてのジェラートをキッチンカーで販売したり、食育の場を提供する意味でも、飼育・搾乳、バター作り、ジェラート試食などの体験をしてもらい、消費者に「牛乳の背景を伝えること」を発信し続けたいです。



森さんが愛情と注ぎ飼育している乳牛



搾りたて牛乳も使用！もり牧場ジェラート

朝、搾乳した牛乳も
頂きました！

編集後記

気象庁は、2025年夏の日本の平均気温が、1898年の統計開始以来最も高く暑い夏と発表した。季節の進行が異例の早さで推移している。今後、夏のイベント開催が危ぶまれるのではないかと、余計な心配をしてみよう。この夏は乗り越えたが来年はどうなるのだろうか。さて、今年の夏休みは、要望もあり自習室として、町内の中学生、高校生に議場を開放し、多くの学生が議場という環境の中で勉学に励んでくれた。

今回の取り組みがきっかけとなり、子どもたちの中から、政治家を目指し、須恵町で活躍してくれるかもしれない。これからの日本を背負っていくであろう学生諸君の将来がたいへん楽しみで、多いに期待している。

川口 満浩

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：稲永 辰己

副委員長：田ノ上 真

委員：川口 満浩

委員：川原 幸治

委員：平山 諭

2025
10
October

福岡県須恵町議会だより Vol.238

【発行】 福岡県須恵町議会 【所在地】 〒811-2193 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵771番地
 【TEL】 092-932-1151 (内線 411 議会事務局) 【FAX】 092-933-6579
 【印刷・製本】 株式会社三光



特集

124名

『皆さまの声、活かします』

須恵町議会だより

伝わる・届く議会だよりへ！

Q 『須恵町議会だより』に対するご意見・ご感想

ご意見

議会だよりが変りましたね。もっと宣伝したら良いと思います。議員の皆さま頑張ってください。

質疑応答のその後の結果が知りたいです。沢山の問題があり、全て載せるのは難しいと思いますが、知りたいです。

議員の方が多く掲載され、ふだん議員をあまり知らないで、親しみをもちました。町民ももっと載っていると良いと思います。

議員が答えます!!

平山議員

より多くの町民の方に手にとって、読んでいただけるように広報特別委員会をはじめ、議員全体で研修を受けました。手元に届かない方々にも読んでもらえるよう、試験的にコンビニなどにも置かせていただいています。今後も「議会だより」に興味を持っていただけるよう努力いたします。

川原議員

質疑応答の後、進展があった内容については、議会だよりの「追跡…一般質問のその後」にて掲載報告しておりますので、ぜひ一読ください。今後、その他の質疑応答に関しても、進捗状況の把握に努めてまいります。

川口議員

親しみをもち、身近に感じていただけたのであれば、たいへん嬉しく思います。是非、議場へ足を運んでください。そして、議会の雰囲気を感じてください。今後も議会だよりには、多くの町民に参加していただき、議会を盛り上げて頂ければ幸いです。

Q 『議会だより』読んでみたい記事は？

ご意見

60歳代:女性

議員一人ひとりの活動報告などが記載されたら、どんな仕事をされているのか分かりやすいと思う。

40歳代:女性

実際に改善した事などの報告
●議会や議員について分かりやすく解説する記事
●まちの課題を取り上げる特集(福祉や教育など色々な分野にわたり)

60歳代:女性

一般質問。ここが聞きたいが興味深かったです。

議員が答えます!!

三上議員

議会だよりでは、議員の考えなどを皆様にお伝えできるよう、議員登壇記事を積極的に掲載するよう作成しています。議員一人ひとりの活動内容については、ページに限りがあり掲載できないのが現状です。ホームページには、議員活動や委員会調査報告書などの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

猪谷議員

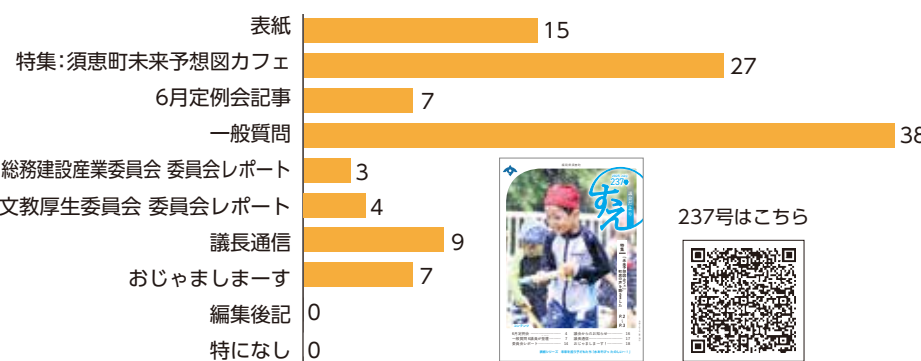
実際に改善したことなどの報告については、「追跡…一般質問のその後」で紹介しています。また、町の課題を取り上げる特集については、議会活動に活かせるよう、議会報告を兼ねた「未来予想図カフェ」を開催し、町民の声を聴き、議会だよりで紹介しています。

白水議員

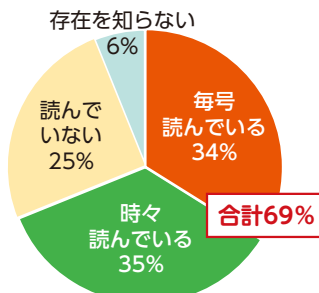
町民の代表として、選ばれた議員は行政に対して、町民の聞きたいことを行政から聞き出すことで、よりよい町にするために、力を注いでいます。

アンケート結果はこちら

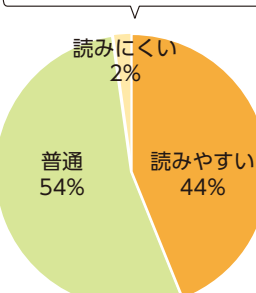
『須恵町議会だより(237号)』で関心を持った記事は



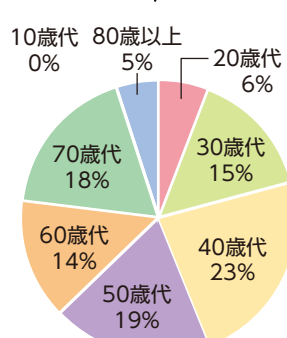
『須恵町議会だより』を読んだことがありますか



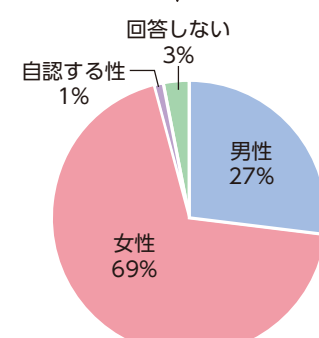
紙面構成や内容(文章・見出し・写真)の印象はどうですか



あなたの年齢を教えてください



あなたの性別を教えてください



Q 『須恵町議会』に対するご意見をお聞かせください

ご意見

40歳代:女性

子どもたちが多い地域であるにも関わらず、子育てがしやすい環境なのが残念に思います。未来を担う子どもたちが住みよい地域になるように尽力していただきたいと思います。

40歳代:女性

普段から沢山のニュースをよく載せていただいているのを拝見していると、役所の方々の町の活性化に向けた日々の、活動のエネルギーをとても感じています。素敵な町に移住してきたなあと、日々感じています。

60歳代:女性

「未来予想図カフェ」は素晴らしいと思いました。議場を自習室として開放することも素晴らしい案で、子どもたちの将来にきっと役に立つと思います。

60歳代:男性

もっと議会活動のPRを！

60歳代:男性

今後の須恵町の方向性、取り組みなどを知りたいし、どの議員がどんな行動を取っているか知りたい。

議員が答えます!!

松山議長

未来を担う子ども達を育てる環境を整えることは、重要で、議会としても、皆様の声を参考にしながら、子ども達皆様が住んで良かったと思ってもらえる環境作りを、限られた予算の中で、町執行部と協議し子ども達を見守り・育てるため加えて頂ければと思います。

田ノ上副議長

そうですね、役所の方々は町民サービスのために頑張っていると思います。職員の働きやすい環境を、議会としても作っていきたく

男澤議員

未来予想図カフェは、町民の方々の様々な思いや考えを、重なる意見を得ることにより、これからの議員活動に活かす。議会改革の一環として自習する場所を受けて行っています。議会・町政に少しでも興味・関心を持って頂く。議場開放のアンケート結果は高評価です。

三角議員

議会活動については、議会だよりや町のホームページが、PR不足は否めません。令和5年12月に、議会改組、新しい試みを企画しています。議会だよりについて止まるような、また、手に取って頂けるような議会だよりを目指して参ります。

百田議員

私達議員は、行政に対して下調べしながら質問しています。みは、ホームページや議会だよりに掲載していますので、地域の行事に参加したりして、町民の方々の意見をよく聞

広報特別委員会 稲永委員長



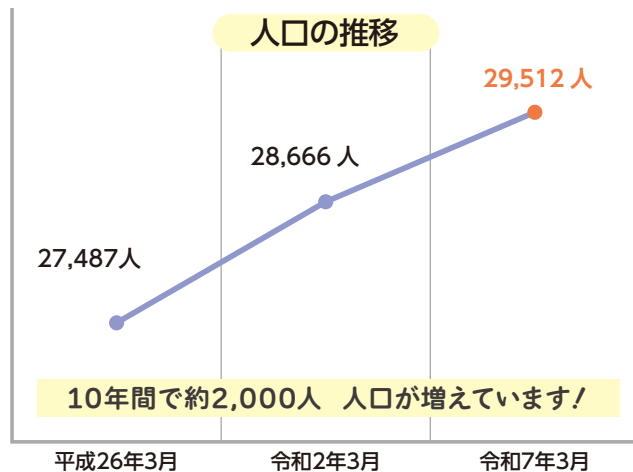
この度、議会初の試みとして須恵町議会だよりのアンケートを実施したところ、124名の方から回答をいただくことができました。議会だよりを読んだことがあるとの回答が69%あり、表紙がとってもいいですとの回答に喜びもひとしおです。また、厳しいご意見もいただき、議会だよりの編集および議会活動において町民の皆さまの声を真摯に受けとめ、今後の議会活動に活かして参りたいと思います。

議員のコメントは、議員個人の意見です。須恵町議会公式の意見ではありません。



どう
変わった?!

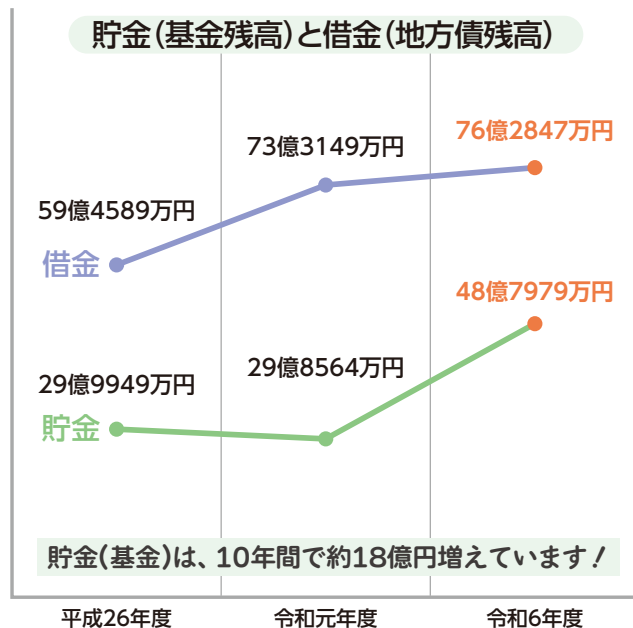
10年前、5年前と気になる数字を比べてみました!



災害の少ない町・福岡空港と博多駅に近い・空気がきれい・緑の多さ・地価の安さ等々あと10年は増えると思います。
これからは、須恵川の活用を含め、水のおいしさを究めていけばさらに魅力ある町になっていくと思われます。
世界一住み良い町への挑戦を進めていこうではありませんか。



長札区 伊藤 興和区長
(区長会 会長)



CHECK! 地方債とは

地方公共団体が財政運営に必要な資金を、一会計年度を超えて借入れることで負担する債務です。
これは、道路や学校などの公共施設整備に要する費用を、利用する将来世代とも分担する「世代間の負担の公平性」を図る目的があります。

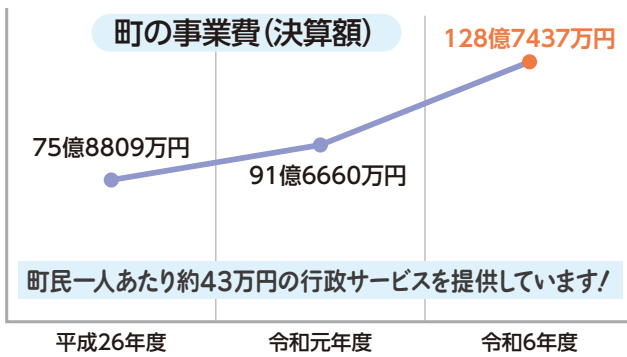
CHECK! 基金とは

特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために、自治体が条例の定めに基づいて任意に設置した資金又は財産です。



川口監査委員

用語
解説

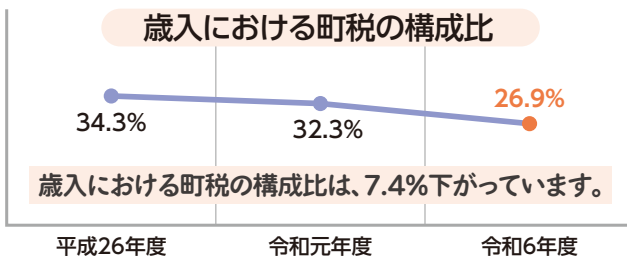
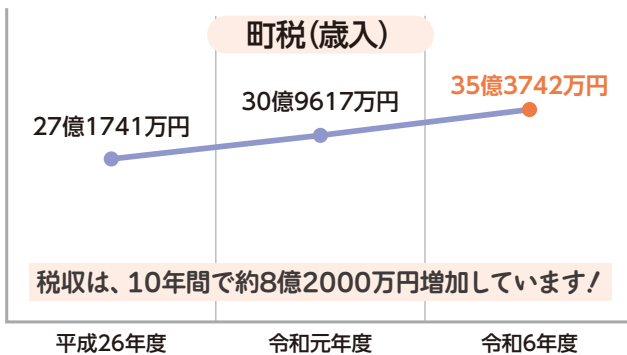


事業費は増加傾向で、この動きに近いグラフは、このページでは人口の推移になります。人口増とともに支出が増えているのが見て取れます。性質別でみると、全体的にほぼ同じバランスで増加しています。その中でこの10年で人件費は15.7%から11.6%に減。扶助費は20.7%から28.1%に増加しました。義務的経費が多いものの、須恵町の財政は健全の範囲内にあります。

ただし下のグラフにあるように、町税の伸びはゆるやかなので、やりくりは大変です。



決算審査特別委員会
田ノ上委員長



税収入の増加傾向は須恵町の人口増などが影響しており、また、納税相談などの対応により、収納率向上による税収の増加なども要因と言えます。
税収増とはいえ今後も、人件費・民生費、老朽化する公共施設やインフラ整備、さらには物価高騰対策など、財政需要の増加が見込まれます。
時代の変化により生じる様々な町民ニーズを的確に把握し、優先順位を見極めながら、限られた財源の適切な活用にも努めることが大切です。



決算審査特別委員会
男澤副委員長

『どう使った?』

9月
定例会

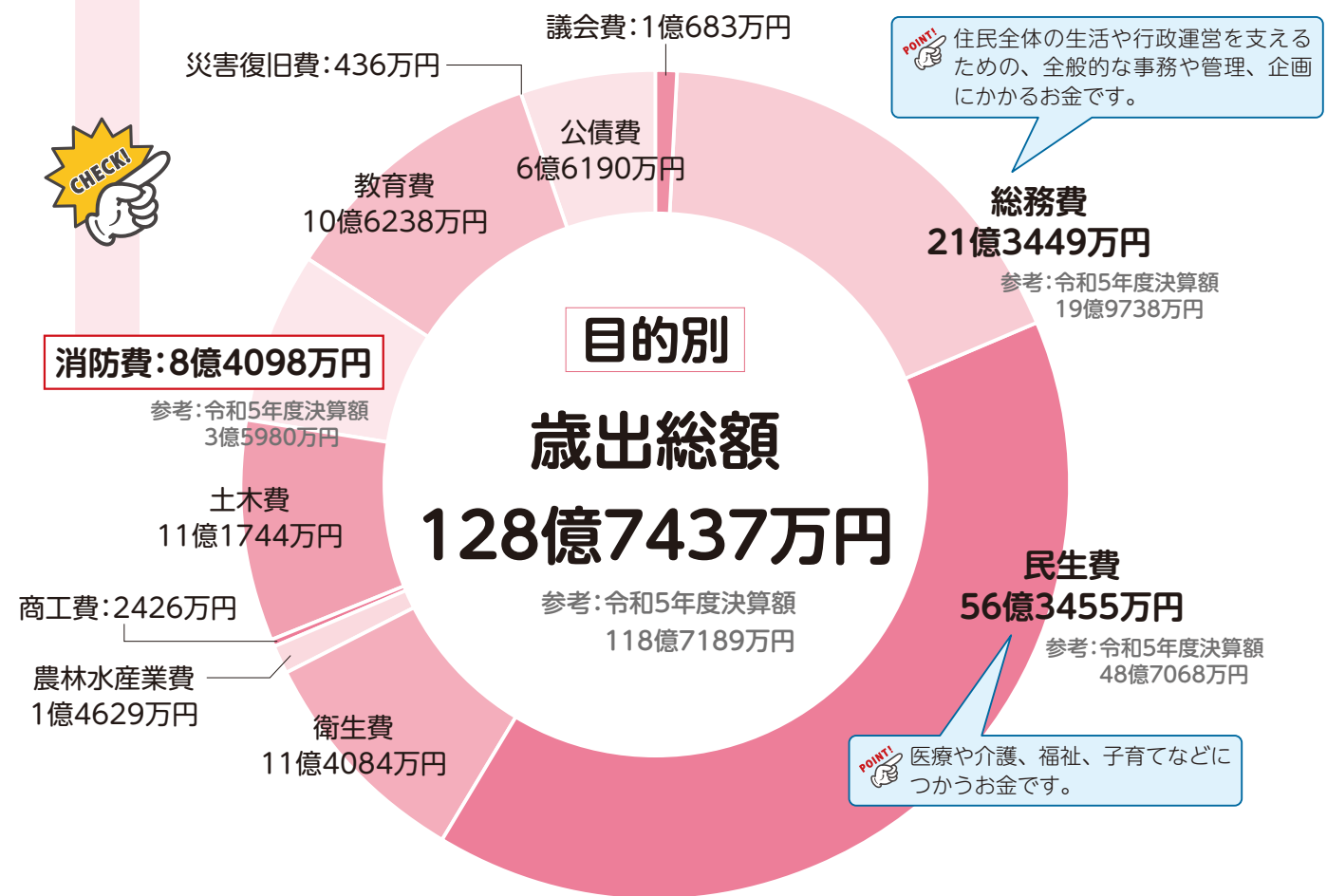
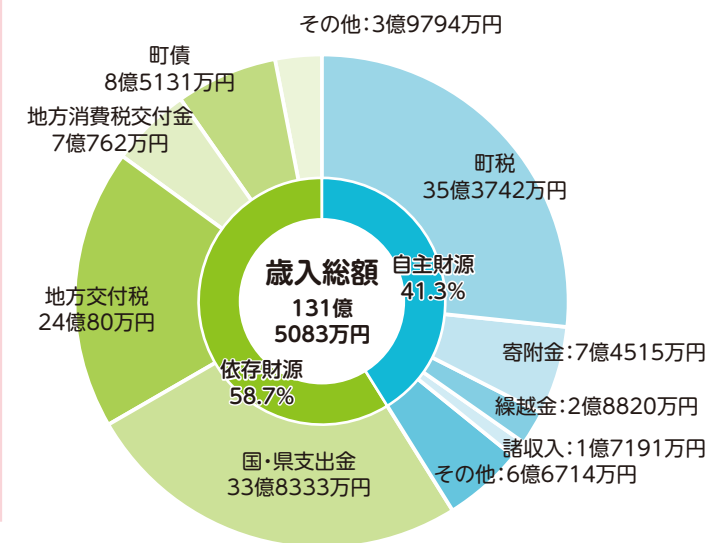
令和6年度 一般会計決算を認定

9月5日から22日までの18日間で行われ、審議の結果、提案された議案17件は、原案のとおり認定・可決・同意しました。

中部防災センター建設事業 事業費(決算額) 4億5825万円



詳細は、P6



※すべてのページにおいて、金額は1万円未満を切捨てていますので、金額が合わない場合があります。

令和6年度目玉事業の成果・効果をチェック！！

令和6年度 目玉事業として紹介した事業について、予算執行後の成果・効果を紹介します。

令和6年度目玉事業は、
232号で紹介しています。
232号はこちら→



新生児聴覚検査事業

事業内容

新生児聴覚検査は、聴覚障害の早期発見・早期支援のために、生後間もない時期に医療機関で受けることが勧められている検査。

新生児の聴覚検査費用の一部助成。

当初予算額：151万円

決算額：85万円

成果・効果

契約医療機関などで検査した**165人分の検査費用を助成**しました。

事業
継続

本事業は、令和7年度も継続



新生児の聴覚障害の早期発見・早期支援のため医療機関での検査をお勧めします。(写真はイメージです)

議員の視点

早期に発見でき、医療機関に繋げることができる。

その費用の一部助成は大変にありがたい事業だと思います。

白水議員



須恵町の防災拠点のひとつとして建設されました！

須恵町消防団格納庫も併設されました

令和7年3月に防災センターが須恵区に完成しました。4月13日(日)須恵区総会を皮切りに利用が始まりました。利用された方は「素晴らしい！」「こんな立派な建物、相当費用が掛かったとてしようね！」6ヶ月を経過した今、他から見学も受け入れています。今後、公民館の管理運営に務めて参りたいと思います。終わりに、平松町長をはじめ、町議会に対しまして深く感謝申し上げます。

町民の声

須恵区 吉松 清 区長

中部防災センター建設事業

事業内容

町内4カ所目の防災拠点として、中部防災センターの建設。

当初予算額：4億6115万円

決算額：4億5825万円

成果・効果

平時は区の公民館として、有事の際は指定避難所および災害対策本部としての活用予定です。

詳細
は！

中部防災センター竣工について236号に掲載しています。

236号はこちら→



食材とレシピが一緒になったものを宅配しました。(写真はイメージです)

配達されたメニュー(例)



議員の視点

令和6年度で終了した事業ですが、ひとり親世帯の反響も大きく好評でした。今後また、こういった取り組みになるか分かりませんが、ぜひ未来を担う子どもたちの為にも、このような取り組みを検討実施していってほしいなと思います。

川原議員

ひとり親等家庭 子育て応援食材支給事業

事業内容

近年の物価高騰の影響を特に受けると考えられる所得のないなどのひとり親世帯を対象に、材料とレシピが一緒になったものの宅配。

当初予算額：512万円

決算額：265万円

成果・効果

事業の対象となる世帯のうち希望があった**36世帯**に対し、7月から3月まで**原則毎週1回の宅配**を実施しました。

事業
終了

子ども医療費助成事業 (助成の拡充)

事業内容

子育て世帯の負担軽減のため、3歳以上中学生以下の対象者は、入院は自己負担無し。入院以外は自己負担額の上限を500円/月まで。

当初予算額：1億4257万円

決算額：1億4239万円

成果・効果

令和6年度は、中学生以下の子どもたちに**6万4,180件の医療費を助成**しました。(年度末対象者数4,407人)



さらに
拡充

令和7年9月定例会で、助成の対象をさらに拡充する条例が可決。令和8年4月1日から**18歳**までとなります。

中学生以下の子どもの医療費の自己負担額が軽減されました。(写真はイメージです。)

医療費助成が15歳まで拡充され、毎月の通院費が500円までとなり、経済的に苦しい家庭を、そして子どもたちを救うことに繋がり、たいへんありがたい事業であると思います。明るい未来を担う子どもたちのため、対象年齢を広げるとともに、事業の継続をお願い致します。

町民の声

新原区 松本 光司さん

令和6年度決算 さらにフカボリ！ 注目Q&A 決算審査特別委員会

決算審査って何？

議会が行う決算審査は、議会が決定した町の予算が適正に使われたかどうかを審査するとともに、住民に代わり、どのような効果や成果があったのかを評価することです。

行政区等運営事務

1億282万円

❓ 廃止した町もあるが、
須恵町は大丈夫？

Q 行政区・組合組織の今後の見
通しは。

A 総務課長 組合加入数や加入
世帯の掌握はしているが、町
内で組合の廃止などの情報は把握し
ていない。今後、リスクなど関連の
情報収集をしていく。



三角議員
生活環境が多様化してきており、組合加入率が
年々下がる一方です。しかし、より良い住環境を
整えるには、組合活動も重要だと考えます。ニー
ズにあった組合組織の在り方を検討する時期が
来ているのではないのでしょうか。

町税収納事務

370万円

❓ マイナカードの口座のヒ
モ付けは、業務の効率化
につながると思うが？

Q マイナンバーカードの口座の
ヒモ付けや、国保の収納事務
は住民課と連携できているか。

A 税務課長 ヒモ付けに関して
の連携は、現在のところでき
ていない。収納事務に関しては、住
民課との連携は密にしている。



マイナカードと口座のヒ
モ付けによる業務の効率
化を図るべきでは？
(写真はイメージです)

田ノ上議員
マイナカードは住民課の事業、国保の収
納は税務課ですが、両課とも補い合っ
て前に進めてもらいたいと願います。

❓ 利用者増だが
将来性は？

Q 事業の成果と今後の見通しは。
まちづくり課長 7万人を超
える利用者だが、前年度より
増加することを目標値として立て
ている。今の運行を維持できる形が、
町民の移動手段として喜んでもらえ
るものと認識している。現在7路線
を4台で運行しているが、例として、
中央循環線の利用者が増えているの



町民の声
乙植木区 上田 静江さん
カルチャーセンターに体操教
室に行くなど、週3回以上利
用しており、とても助かって
ます。

❓ 納税相談の実情は？

Q ファイナンシャルプランナー
(FP)相談業務の詳細は。

A 税務課長 業務にあたるFP
は2名。出勤1回あたり7時
間として予約制としている。令和6
年度から5回の出勤。令和4年度か
らの事業だが、その時からずっと納
税相談を利用している方がいて、累
計額が上がっている。



百田議員
税金を納めにくい方にとっては、相談で
きるにより、税金を分割で支払える
など、いい制度だと思います。

道路新設改良事業

1億2903万円

❓ 通学路安全推進会議
の体制は？

Q 通学路安全推進会議に、交通
指導員を所管する総務課が
入っていないが。

A 都市整備課長 会議創設の
きっかけが、文科省から国交
省への働きかけであったことから
当時のことも教育課、都市整備課が
中心となり、現在に至っている。今後
総務課も会議に入る方向で協議・検
討をしていく。



交通指導員を所管する総務課も会議に
出席して、情報共有することが大事です。



稲永議員

PTAなどで危険個所の調査を行っていることは知っていましたが、交通安全指導員の会議において、その情報を共有した事がないようです。関係部署との情報共有をお願いしたいです。

令和6年度各会計の決算状況および議決結果

会 計 名		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額	議決結果
一 般 会 計		131億5083万円	128億7437万円	2億7646万円	全員賛成で認定
特別会計	国 民 健 康 保 険	28億516万円	27億7186万円	3330万円	全員賛成で認定
	後 期 高 齢 者 医 療	5億1889万円	4億8721万円	3168万円	全員賛成で認定
会 水 道 事 業 計	収 益 的	6億8207万円	6億2369万円	5838万円	全員賛成で認定
	資 本 的	584万円	1億9437万円	△1億8852万円	
会 下 水 道 事 業 計	収 益 的	11億6629万円	7億8079万円	3億8550万円	全員賛成で認定
	資 本 的	4億1895万円	7億2087万円	△3億192万円	

令和6年度 決算審査

『監査委員は、
こう見た。』

予算の執行・関連事務処理は
概ね適正



意見書全文は
こちら↑



吉松監査委員（代表） 川口監査委員（議選）

一般会計

実質収支額は2億6076万円で、
15年連続の黒字決算となった。今後
も、財政の硬直化を招くことのない
よう、経常経費の縮減を図っていく
必要がある。

事業の実施に当たっては「選択と
集中」を図り、優先順位を明確化し、
効率の低い事務事業については、見
直しを行うなど、適正かつ効率的な
財政運営の構築に努めていただきた
い。

国民健康保険特別会計

昨年度に引き続き、被保険者数は
減少し、歳入の保険税調定総額も減
少している。医療費の削減は、給付
金の増減に相関しており、医療費削
減のためには、長期的な計画で、か
つ効果的な医療費適正化事業を推進
していく必要がある。

水道事業特別会計

安全で安心な水を安定的に供給す
ることは、水道事業の使命である。
一層の経営の効率化、合理化を図り
ながら、災害対策の強化にも努め、

将来にわたり良質な水道サービスを
供給できる事業運営に鋭意努力され
ることを要望する。

下水道事業特別会計

将来にわたり効率性、経済性を発
揮しながら、下水道の普及促進、計
画的な施設・管渠の更新、雨水排水
対策等に着実に取り組んでいただく
とともに、総務省基準外繰入金に依
存しない経営を目指して、公営企業
として健全な事業運営に努めていた
だきたい。

行財政運営全般においては、高く
評価できる。しかし、ここ数年の世
の中の流れ、状況の変化を鑑みると、
財政需要の増大が見込まれる。今後
も、職員一人ひとりが現状を認識し、
事業の効果や必要性を精査するとと
もに、町民ニーズを的確に把握し、
限られた財源の適切な活用にも努め
ることを切望する。

須恵町監査委員

吉松辰美
川口満浩

令和7年度補正予算

さらにフカボリ！ 注目Q&A
予算審査特別委員会

荒廃森林整備事業

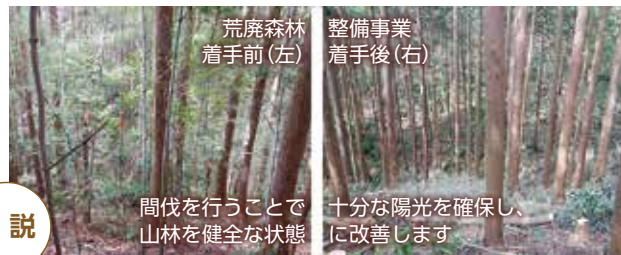
450万円

？ 荒廃森林伐採の場所は？

Q 大幅増だがどこを伐るのか。

A 地域振興課長 令和7年度森林整備事業については、上須恵地区で強度間伐（かんばつ）93ヘクタールの計画だったが、県からの打診があり事業量を増やすと判断した。県費である。変更内容は、強度間伐が9・93ヘクタールから、11・3ヘクタール、1・37ヘクタールの増。侵入竹伐採が新規で4・08ヘクタール追加。実

施箇所については、佐谷、上須恵の一部になる。



解説

（荒廃森林とは）

人工林（スギ・ヒノキ）が長年手入れなく放置されている山林で、木が密集状態になり陽光不足で周囲の草や落葉層（落ち葉や落枝、果実等が山の地表面に堆積した層）が貧弱となり、土壌の公益的機能が低下した状態の山林です。

（さらに放置すれば）

水源かん養機能や土砂流出防止機能などの公益的機能が低下してまいります。

青少年健全育成事業

993万円

？ 旧須恵区公民館、どんな施設になるのか？

Q 旧須恵区公民館の活用は。

A 社会教育課長 リノベーションの後、ジュニアスポーツ団体、文化団体、サークルの定期的な活動に対して、宿泊可能な施設になるので活用が期待できる。また、地域ボランティア団体による通学台宿も行われているが、受入れが可能となるように設計を進めたい。

旧須恵区公民館では、定期的に活動していたサークルがあったものの、中部防災センターが住宅地に隣接していることから、音の問題などで使えていない。新しい青少年研修施設は、町の施設となるので、こういうサークルに対しても、日常活動をサポートしていきたい。

Q 改修の内容は。

A 社会教育課長 改修内容は、シャワー室の設置、トイレの改修、2階を間仕切りして3部屋の個室にする、1階の大広間、和室も畳の張替えや床の補強などを行う想定である。



既存施設を有効活用！ 宿泊可能な青少年研修施設へ

Q 建物周囲の整備は。

A 社会教育課長 樹木の伐採については8年度以降に行う必要性があると考えている。車の利用については、駐車場の確保、導線の整備は、今後検討することになる。



三上議員

宿泊可能な施設が、須恵町に計画されています。ジュニアスポーツ・文化サークル活動に一段と弾みがつくのではないのでしょうか。楽しみです。

補正予算

■一般会計

◇令和7年度補正予算（第3号）

1億5144万円を追加
総額138億9573万円
（全員賛成で可決）

◇令和7年度補正予算（第4号）

260万円を追加
総額138億9833万円
（全員賛成で可決）

■特別会計

◇国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

63万円を減額
総額28億9923万円
（全員賛成で可決）

◇後期高齢者医療保険

特別会計補正予算（第2号）
20万円を減額
総額5億2129万円
（全員賛成で可決）

田ノ上議員

下の欄「財産の取得について」は、西鉄バス路線の廃止を受けてのもの。昨年来、存続の努力をしてきましたが、廃止が決定し、西鉄バスに代わって、これからはコミュニティバスが運行します。

西鉄バス空港循環線（佐谷～新生区間）の廃止については、
こちら➡

その他の議決結果

須恵町議会議員及び須恵町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正 （公職選挙法施行令の一部改正による改正。選挙運動用ビラの作成単価、並びに選挙運動用ポスターの作成単価をいずれも増額）	全員賛成で可決
須恵町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正 （子育て世帯の経済的負担をより一層軽減させることを目的として、子ども医療費助成制度を拡充するため当該条例の一部を改正）	全員賛成で可決
須恵町重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正 （子育て世帯の経済的負担をより一層軽減させることを目的として、重度障がい者医療費助成制度を拡充するため当該条例の一部を改正）	全員賛成で可決
須恵町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正 （子育て世帯の経済的負担をより一層軽減させることを目的として、ひとり親家庭等医療費助成制度を拡充するため当該条例の一部を改正）	全員賛成で可決
財産の取得について （令和8年3月に西鉄バス空港循環線（佐谷～新生区間）が廃止されることに伴い、代替交通として使用する新規車両を購入する。取得価格2,433万円）	全員賛成で可決
工事請負契約の変更について （須恵第一小学校長寿命化改良工事（第2期）の請負金と契約保証金の変更：請負金 4億1,024万円 → 4億5,551万円）	賛成多数で可決
工事請負契約の締結について （須恵第二小学校増築工事：請負金 4億5,870万円：工期 令和8年3月31日まで）	全員賛成で可決

人事案件の審議結果

須恵町監査委員の選任

任期満了にともない、後任として選任され、議会が同意しました。

任期：令和7年12月22日～
令和11年12月21日
吉松 辰美氏（須恵区・73歳）

令和7年 第2回（8月）臨時会

8月18日（月）

令和7年度須恵町 一般会計補正予算（第2号）

● 2874万円を追加 総額137億4428万円
コミュニティバス購入費 2700万円
須恵みなみ幼稚園 栄養士派遣業務委託料 174万円

財産の取得について

● 屋内避難所用パーテーション 210張
● 大型扇風機 4台 他全員賛成
同意

教育

かわはら ゆきはる
川原 幸治 議員が問う

中学校給食導入の検討を

財政を考え方向性を見極めていく

質問を終えて

全員給食への移行は財政的な問題もあるが、それならば、先ず既存のランチサービスの在り方を、早急に検討し見直していただきたい。

映像はこちら



川原 行政には、保護者から学校給食について、要望はあがっているのか。

学校教育課長 文書などの正式な要望はないが、過去3年間でメールでの問い合わせが3件あった。内容は、給食の実施はあるのか2件、給食実施についての検討要望が1件である。

川原 行政は、中学校給食の導入をどう考えているのか。

学校教育課長 保護者にとって関心の高い問題であると認識している。本町では、ランチサービスを導入しているが、改善点があることも把握している。限られた財政の中で実現可能な改善をしていきたいが、現在、中学校に給食を導入することは考えていない。

川原 給食について、小学5、6年生の児童を対象に、アンケートを実施していたが、今後は、保護者にもアンケート実施を考えているのか。

学校教育課長 すぐに保護者にアンケートを実施するのではなく、まずは教育委員会として、保護者の代表者であるPTAの代表者方々の意見を丁寧聞く場を設け、より良いランチサービスの在り方について検討を行なっていく。

川原 年々、家庭の在り方、働き方も多種多様になってきている。保護者の思いも色々あると思う。今後、中学校の給食導入検討委員会を設置する考えはあるのか。

教育長 現状で、各小中学校に給食調理室を新設、あるいは小中学校5校を統括する方式で給食センターを導入することについては、非常に財政的に厳しい状況にあると考えている。まずは教育委員会と財政当局とで、方向性を見極める必要があると思っている。中学校の子ども達の3割弱がランチサービスを利用している。こういった現状も踏まえながら、より良いランチサービスの在り方については、今後検討していくが、給食など



温かい学校給食を配膳
(写真はイメージです)

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

についての検討委員会を、今すぐ設けるということについては、現段階では考えていない。

まちづくり

たのうえ まこと
田ノ上 真 議員が問う

須恵町の未来構想は

スピード感を持ってやっていきたい

質問を終えて

具体的な計画内容は、まだ公表の段階ではない、ということだろう。難しいことも多いと思うが、議会としても注視していきたい。

映像はこちら



田ノ上 第7次総合計画の町民アンケート結果のうち、施策の満足度・重要度について最も優先度が高いものは、道路交通に関するものであった。また、須恵中央駅周辺の開発案や改良案については、以前から耳にする機会も多くあったが、今後の見通しについて伺いたい。

町長 今回の質問、ありがたいと思うが、全てを答えることが、今、いいのかどうかという、非常に答えにくい。しばらく任せていただきたい。汐井掛踏切については、動き出すので、しばらくお待ちいただけるかなという気持ちでいる。

田ノ上 まちの核づくりは、スピード感が必要。運転しない高齢者もさらに増えていく。自由な移動が難しくなる一方、須恵町はコミュニティバスの発達で、年間利用者は7万人を超えている。マスタープランに言う中央地域が整備されると、コミュニティバスを利用してここに誘引できるしよ

う。町長の考えは。

町長 御指摘のとおり、スピード感を持ってやっていきたいが、それで、来年できる話でもない。トータルしていくと、全てが終わるのは、インフラ整備が、予定どおりいけば6年内。

須恵中央駅周辺の、「住ん



第二次須恵町
都市計画マスタープラン

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

これだけで10億以上かかる。そういうことをトータルに考えながら、同じ方向を向いて、共にやっていきたいと思う。

その間に、道路交通網の整備、防災、学校の施設整備、体育館のエアコン、これは、ただ学校の生徒の命を守るだけではなく、須恵町民の命を守るため最優先事項としてやる。

でよかったまちづくり」のためには、いろんな企業とかに、来てもらえる魅力作りに時間がかかる。各分野の人たちとコンセンサスを図って進めていくには、どんなに急いでも10年近くはかかる。

福祉



しろうず はるお
白水 春夫 議員が問う

発達性読み書き障がいの対策は 必要であれば、通級指導を開始

質問を終えて

町は、読み書きに困難さに対応した個別の合理的配慮を提供されていることに安心いたしました。

映像はこちら



白水 発達性読み書き障害は学習障害の一つで、脳機能の発達に問題があるとされている。文字の読み書きだけに困難を示す障害で、周りから気づかれにくい面がある。

の保護者と連携が重要だと思うが、どのようにしているか。

学校教育課長 学校では、日常の学習や生活の様子を記録すること、サポートヒントシートの実態把握を参考にした、指導支援を進めている。

白水 発達性読み書き障害への理解を促すべきと考えるが、町としての見解を伺う。

白水 発達性読み書き障害の子ども達や、その疑いのある子ども達を含めて、どのような対応・対策をしているか。

学校教育課長 保護者・本人とも十分に話し合う。必要と判断されれば、通級の指導を開始する。通常の学級の担任は、読み書きの困難さに対応した、個別の合理的配慮を提供していく。

白水 周りの子どもと違うと感じた保護者に対して、安心してもらうためには、子ども



他人に「怠けている」などと誤解されることもある



教育長 発達障害の子ども達の理解と支援については、特別支援教育の研修会、特に特別支援コーディネーター研修会、それから特別支援学級教員の研修会、授業研究会、教育支援委員会や教育委員会が発行する特別支援教育通信等の情報提供により、広く周知している。

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

環境

おざわ かずお
男澤 一夫 議員が問う

岳城登山道のゴミ投棄対策は 毎週水曜日に展望台まで巡回

質問を終えて

岳城登山道を特化した対策より車からのポイ捨てなど悪質な不法投棄が後を絶たず、町全体としてのゴミ投棄防止対策が必要である。

映像はこちら



男澤 岳城への年間登山者数について問う。

公園緑地課長 通常の個人で登山される方の人数は、把握していない。皿山の公衆トイレの水道使用量や、歴史資料館前の駐車場利用状況から推察すると、年間を通じかなりの登山者がいる。

男澤 ゴミ投棄の有無について定期的に現地の確認はしているか。

公園緑地課長 町有林の管理作業員があり、毎週水曜日に展望台までの登山道を巡回している。これまで、目立ったゴミの投棄は、ほぼ確認されていない。

男澤 皿山公園駐車場・登山道の中間部・展望台にゴミの持ち帰りを周知する看板を設置してはどうか。

公園緑地課長 小動物園の広場に立て看板を設置、イベント広場の上側登山道の左右に不法投棄禁止の看板を設置し

ている。現状では概ね守られているので、現時点ではこれ以上の看板の設置は考えていない。

男澤 すでに捨てられているゴミへの対策を問う。

公園緑地課長 当然、巡回時にゴミを見つけたら、回収はしている。作業員の話によると定期的に登山されている方で下山時に掃除しながら降りて来る方がいる。状況が変われば、その時に考えていきたい。

男澤 須恵町も10月3日登山の日に、岳城へのゴミ投棄防止の啓発登山を計画してはどうか。

地域振興課長 岳城登山道にゴミが投棄されている連絡は、ここ数年入っていない。

それよりも町内での車からの道路へのゴミのポイ捨てや、須恵川河川敷、高速道路カルバート、車両が通行できる林道への悪質な不法投棄が後を絶たない。町全体のゴミ投棄防



ゴミの持ち帰りを促す看板



不法投棄禁止看板



展望台パノラマ看板

止対策が必要であり、車両が通行出来ない岳城登山道だけを特化した啓発は考えていない。

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。



執行部の答弁は実行されているのか？

一般質問のその後

過去の一般質問の内容に対し、
どのような対応がなされたか、
また、どのように町政に
反映されているのか追跡しました。



「翼をください2」(令和4年12月議会)

質問 かつて町制施行50周年記念事業として「須恵町少年の翼」事業が行われました(中学生10人をオーストラリアに約2週間ホームステイ)。再び須恵町の子どもたちに翼を与えてください。

答弁 **教育長** 大変有意義だが少数の対象者のみとなり、教育的効果は限定的と考えています。

町長 限られた生徒だけに機会を与えるのは違うのでは。全生徒400人を英語圏に連れていくのは財政的に難しい。船になるかもしれませんが、時期が来れば(隣国に)修学旅行として実施できるのではないかと思います。

その後

現状 須恵町では、「中学生海外派遣事業」として、令和7年7月26日から30日までの5日間、中学生15人をシンガポールに派遣しました。大きく成長しての帰国後は、8月20日に報告会を開催し、全員が元気いっぱいに体験を報告しました。

事業予算は750万円。うち県から460万円の補助。応募者は59人。須恵中から5人、東中から10人が派遣されました。

議場での海外派遣事業報告会。
外国の生活に触れ、
多くのことを学んで
いました！



一般質問の録画配信は、こちら



議員研修レポート

「議会だより すえ」町民とつながる議会広報へ

議員研修の第2弾として「議会だより すえ」考える・書く・届ける Next Actionをテーマに、議会だよりを「より強力な広報ツール」にしていくための議員研修会を開きました。

講師は、前回と同様、株式会社社会議録センターの矢嶋 洋美先生をお招きし、前回研修会の振り返りや「議会だより すえ」の可能性について議員全員で研修会に臨みました。

議会だよりチェックでは、前回研修から1年の「変化と進化」について、広報特別委員会の協議の結果が如実に現れており、変革著しいとお褒めの言葉をいただきました。

今回の大きな研修の目的は「原稿」を書くことを主眼としており、伝えるく伝わるを意識し、1文を短く、敬

体文・常体文を混在させない、句読点に注意しながら、原稿を書く実習も行いました。

今回のような研修により、「議会だより」が議会活動を強力に発信するツールであることを議員全員が再認識し、町民の皆さまとつながる「議会だより すえ」の発行を目指してまいりたいと思います。

ご愛読の程よろしくお願いします！

236号を議員全員で再度チェック！
手に取って、読んでもらえる議会だよりへ

どう
感じました？

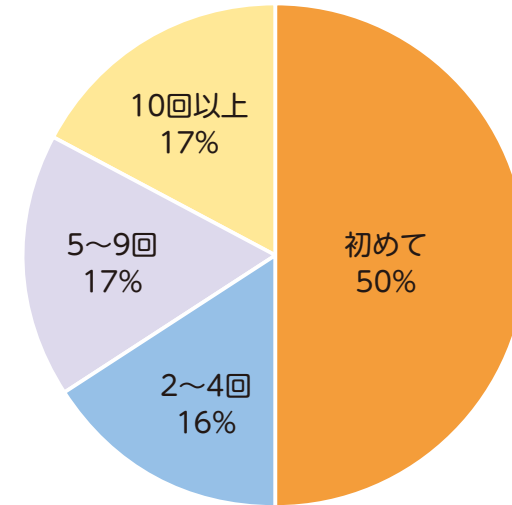
『議会のリアル』

— 傍聴者(視聴者)の声 —

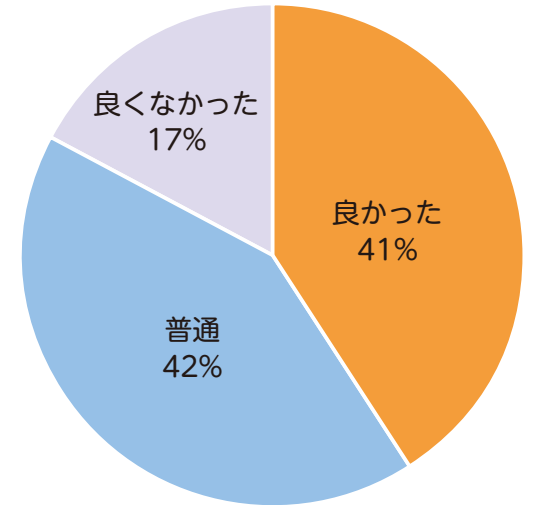
LIVE配信視聴数 121名 録画配信視聴数 295回

※視聴数は、1時間毎の視聴数を積み上げた数です。

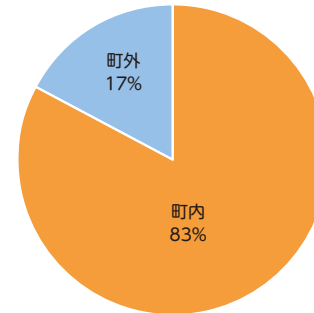
須恵町議会映像配信を、今まで何回視聴したことがありますか？



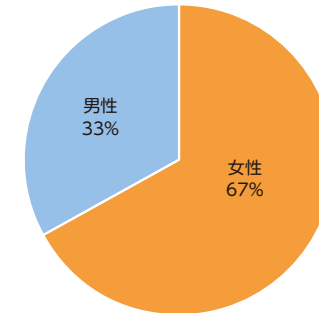
第3回定例会一般質問を視聴してどう感じましたか？



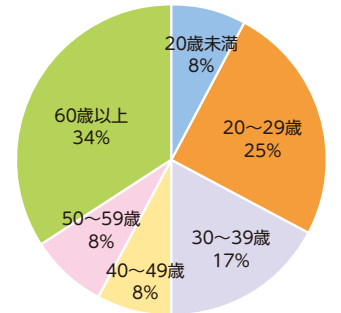
あなたのお住まいを教えてください



あなたの性別を教えてください



あなたの年齢を教えてください



30歳代女性

正直、課題に対して、1歩も進みそうな気がしなかった。
あらかじめ決まったシナリオをいかに上手に読むかが鍵の定例会なのかな？と感じた。



40歳代女性

今回、初めて動画傍聴させていただきました。今までは、広報で結果を読むぐらいでしたので、とても雰囲気わかりました。アンケートができる場もあり、色々意見を言わせていただきましたので、今後、住民の声がもっと届くようになって欲しいです。



50歳代女性

議会の前に町民からの意見を集めると良いと思う。



60歳以上男性

一般質問の通告と答弁の在り方について、
明確にしてほしい。



60歳以上女性

須恵町の問題視される点が理解できた。
町長の答弁が楽しみ。

川口議員



一般質問は、行政の施策や方針を問うほか、町民の声を届ける場として、行政側に対し質問の概要を事前に通告しています。これは、質問の概要を事前に広く周知し、行政側が答弁の準備を整え、円滑かつ効率的な議会運営を確保することを目的としています。

しかし、すべての質問事項を事前に通告しているわけではなく、行政側の答弁に対して、さらに質問を行ない、与えられた時間の中で、成果、結果を引き出すことが出来るように取り組んでいます。

※お寄せ頂いたご意見は、全議員がすべて読ませていただいています。

『子ども・子育て支援事業計画は』 — 全ての子どもや若者が笑顔輝くために —

須恵町の子ども・子育て支援事業について、所管する子育て支援課と意見交換を行いました。

◆第3期須恵町子ども・子育て支援事業計画について

須恵町の全ての子どもや若者が自立した個人として健やかに成長し、将来にわたって笑顔輝く幸せな生活を送ることができるよう、計画策定した第3期須恵町子ども・子育て支援事業の所管する施策について説明を受けました。

須恵町の子ども・子育てを取り巻く現状や第3期計画の基本的な考え方など、基本理念である「こどもがまんなか 笑顔輝く 未来へつなぐまちづくり」と定め

基本目標2 困難を抱えるこども・若者を支えるまちづくり

基本目標3 こどもや若者、子育て家庭を支える地域づくり

などの事業計画を推進していきます。

本年度から令和11年度までの5年間を計画期間としています。



一時預かり施設の確保が課題です

今後の課題

第3期の計画が始まって、特に、子育て短期事業での子どもや成人、障がいの有無に関係なく、ショートステイなどの一時的預かり先が、少し不足しており、保護者や家族に大きく負担がかかっ

ている現状があります。

今後は、短期宿泊の受け入れ先としてのショートステイなど、一時預かり施設の確保にも注力していきたいと思っています。

議会の視点 「多様なニーズを反映させている」

第3期須恵町子ども・子育ての支援計画は従来の未就学児や小学生だけではなく、若者やポスト青年期(30歳から39歳)までの対象を広げている点は、現代社会において多様なニーズを反映させていま

す。また、須恵町子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケートやヒヤリング調査の結果を受け、現状の問題や要望を、今後の活動に活かすことがあったと感じました。

第3期須恵町子ども・子育て支援事業計画
詳しくは、こちら➡



委員会所管事務報告書は、
ホームページで公開しています。



報告書は、こちらから



『債権徴収の一元化は』 — 「債権管理」の現状 —

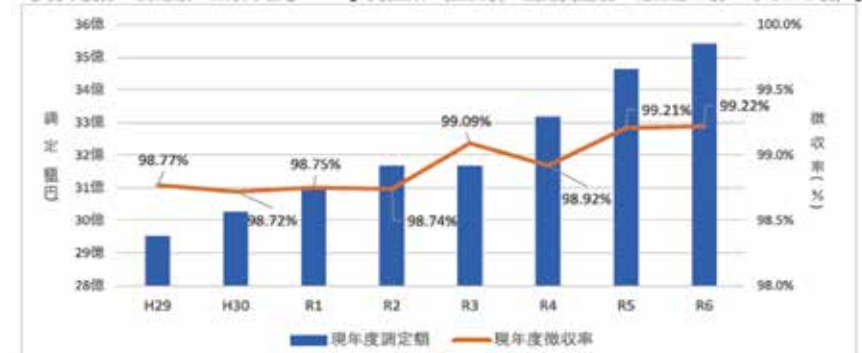
須恵町の「債権管理」の現状について、町税を所管する税務課と意見交換を行いました。

須恵町の「債権管理」の現状を把握するため、本町の歳入の根幹を成す、町税を所管する税務課の業務全般について説明を受けました。

内容は、税務課の徴収体制や町税の概要および、滞納整理や執行停止事務などについて、また、職員の研修状況や※FP相談の現状についてです。

※FP相談=ファイナンシャルプランナー相談

◎現年度分 調定額・徴収率推移 【町税全体(住民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税)】



現年度分徴収率は上昇傾向だが、滞納繰越分徴収率は、近隣町の中でも下位に位置しており、滞納整理の対策が重要です。

今後の課題

徴収率を上げるために財産調査を行い、滞納処分を行っていくとともに、納付困難な場合は、分割納付やFP相談を活用していくとの説明でした。しかし近隣町との比較では、徴収率が高いわけではありません。FP相談も含め困りごと相談など他部署との連

携を深めて行くことが重要と考えます。

また、職員は様々な研修を受けているとのことなので、滞納者が初期段階で、相談しやすい環境作りも必要と考えます。

議会の視点 「債権管理条例の制定も検討するべきでは」

カスハラやクレームなど、重大案件はないとの回答でした。課内ミーティングなどにより、職員間で情報共有がしっかりされている結果といえます。

「債権管理」については、税務課で扱う債権は、町税と国保税であり、国税徴収法等に基づき差し押さえなどの強制徴収ができる自力執行権があるため、法令に基づいて処理を行っています。自力執行権がない債権を所管する部署においては、債権の取り扱

いについて基準を設け、その基準に則って処理を行っていく基準の一元化であれば、債権管理条例の制定も一つの方策と考えますとの税務課の回答を踏まえ、条例の制定について検討していかなければならないと考えます。

また、今後、法改正などで賦課の基準が変わることもあるので、定期的な所管事務調査は行ってきたいと思っています。

須恵町では、ファイナンシャルプランナーによる納税相談を実施しています。

詳しくは、こちら➡



委員会所管事務調査報告書は
ホームページで公開しています。



報告書は、こちらから



議長通信



松山 力弥 議長

議場を自習室として開放

夏休みの期間中、議場を自習室として開放しました。予想以上に好評で毎日多くの子どもたちが利用してくれました。開

放する前は、議会に関心がなく、議場は、敷居が高くあまり利用されないのではと危惧していました。

しかし、蓋を開けると、その心配をよそに朝早くから議会事務局の受付に並ぶ子どもたちの姿を見ることができました。

社会福祉協議会の法人化50周年記念行事として作文募集がされ、その中で最優秀賞に輝いた高校生の作文が発表され、学習環境への願いが、綴られていました。学生は、自習する場所を求めている。そんな声も後押

しとなり、兼ねてから検討していた議場を自習室として開放しました。

議員間の会話の中で、「今日は何人来ている?」「誰の席が人気ある?」そんなたわいもない会話をしながら、議場が役に立っていることに喜びを感じました。

この子どもたちが何十年後かに町議会議員として議場の席に座ってくれるかもしれない、そんな夢を抱きながら・・・(笑)



「家よりも集中できた」が94%

— 夏休み議場開放! — 延べ141人が利用 —

(開放期間:7月22日~8月25日)

夏休みに議場で自習を行う中学生・高校生。目標に向かって、頑張っていました!

議場自習室利用者の声

「議会に興味を持てた」
中学3年生

私は、初めて議場自習室を利用して、静かで家や学校とは違う緊張感があったので、集中して勉強することができました。そして、議場の雰囲気を知ることができ、議会について興味を持つことができました。

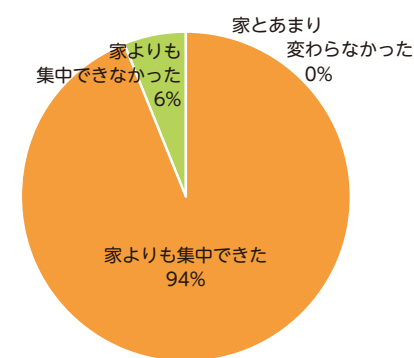
「また開放してほしい」
中学3年生

とても静かで、集中して学習できたので助かりました。いつも入れない議場に入れたのも楽しかったです。また、開放してほしいと思います。

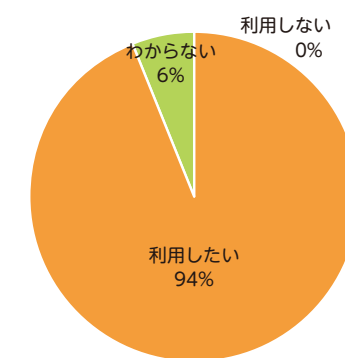
「勉強に不要なものがない」
高校3年生

とても静かで、周りに勉強に不要なモノがないので、集中しやすかったです。また、議場という、いつもは入る機会のない場所だったので、適度な緊張感で自習することができ、貴重な体験ができたと思います。

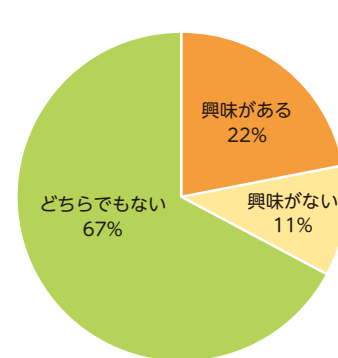
Q.議場での学習効率はどうか?



Q.冬休みや春休み期間中にも、また利用できるとしたら利用したいですか?



Q.町の議会について興味がありますか?



議会改革調査特別委員会 男澤委員長



「議会への関心高まりうれしい」

須恵町には、自習する場所が少ないという学生の声を受けて、本会議の会期以外などで使用されていない議場の有効利用を目的としています。学校とは違う議場の雰囲気が、適度な緊張感で自習する貴重な体験となり、議会への興味を持つことにつながったようです。議会への関心が高まったことは嬉しいですね。

議会改革調査特別委員会 田ノ上副委員長



「子どもたちに励まされました」

議会に登壇するたびに、勉強する子どもたちの姿を見て励まされました。また、静かな環境か、掃除は行き届いているか、エアコンはきいているか、職員も配慮していました。議会は、町政の意思決定をする最重要機関で、その現場が議場です。ここで学問に励み、大いに成長していただきたい、と願います。



作・田原ウーコ

1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <https://polyworks.jp>

No.70

多年の功績に表彰状

糟屋地区議長協議会より、町議会議員として多年にわたり地域の振興発展に貢献された功績に対し、表彰状が送られました。

議員在籍10年表彰
三角 栄重 議員

議場において伝達式が行われました



本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)



次の定例議会は
12月12日からの予定です。

\ 本会議を /
ホームページで
公開しています!

映像配信



会議録

